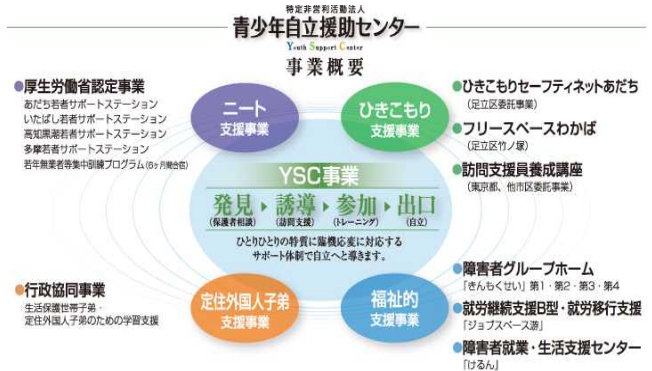


【事例発表】

団体名：NPO 法人青少年自立援助センター

NPO 法人青少年自立援助センター（本部：東京都福生市／設立 1999 年）は、社会的困難を有する子どもと若者を支援しています。東京都福生市を中心に事業所は八王子市、足立区、板橋区等にまたがり展開され、現在ではひきこもりの若者を支援するひきこもり支援事業部、ニート状態の若者の就労をサポートするニート支援事業部、障害者就労支援等を行う福祉的支援事業部、そして外国にルーツを持つ子ども・若者を支援する定住外国人子弟支援事業部の 4 つの事業部が設けられています。



外国にルーツを持つ子ども・若者を支援する定住外国人子弟支援事業部は、2010 年度に新設されて以来、現在までに約 500 名、22 か国にルーツを持つ子ども・若者をサポートしてきました。事業開始当初は日本語教育を柱とする教育支援のみの運営でしたが、2013 年度より法人内若者就労支援関連事業部との内部連携により、いち早く外国ルーツの若者の、日本国内におけるキャリア形成および自立就労をサポートしてきました。2016 年度からは ICT を活用した遠隔地日本語教育事業（ライブ配信・双方向コミュニケーション型）を開始。1 人でも多くの外国ルーツの子ども・若者に必要な教育・支援機会を提供するため、新しい領域へのチャレンジを続けています。

担当：田中宝紀／ピッチフォード理絵 URL <http://www.kodomo-nihongo.com>

MAIL info@kodomo-nihongo.com TEL 042-552-7400 (月-金 9 時～19 時)

教育支援事業 (YSC グローバル・スクール)

- 就学・復学支援
- 学習支援
- 進学支援
- 遠隔地子ども学習支援 (ICT活用によるライブ配信型授業)

自立・就労支援事業－他事業部との連携事業

- 語学学習
- キャリア教育
- 就労支援 (若者サポートステーション)
- 就業支援 (無料職業紹介)



事業実施概要

事業名称	西多摩外国にルーツを持つ若者のための日本語教育事業
地域の課題	本地域では外国ルーツの若者や、日本語が十分でないまま中学を卒業した若者に対する日本語教育活動はそのニーズに対し不十分な状況
事業の目的	長期滞在・定住予定の外国にルーツを持つ若者が、生活に要する基礎的な日本語能力及び生活基礎知識、キャリア形成に要する日本語を習得すること等
事業の概要	日本語教育の実施
	名称：多文化若者日本語教室 目的：ニート状態／学齢超過状態等にある若者等を対象とした、生活に要する基本のおよびキャリア形成に要する日本語の習得支援 対象：外国にルーツを持つ若者 人数：51人（主な出身・国籍：中国、フィリピン、ネパール等） 時間：週5回×3時間（全160回） 内容：生活基盤形成等に関わる事項を取り上げながら、関連する基礎文法を指導する。
	日本語教育を行う人材の養成・研修の実施
	名称：外国にルーツを持つ若者のキャリア形成のための日本語教育支援者養成講座 目的：講座受講生が新たに地域内において日本語教育支援活動を開始させること、その教育の質を向上させることにより、地域内支援の質的・量的拡大を目標とする。 対象：地域日本語ボランティア、実践者、学生など 時間：週1回×30時間（全5回） 人数：10人（出身・国籍：日本） 内容：基礎理解講座の実施／講習とワーク／模擬授業と振り返り
成果と課題	日本語教育のための学習教材の作成
	名称：平成28年度版SNSで日本語コミュニケーション 目的：SNSにて日本人との円滑なコミュニケーション能力の向上を目的とする 対象：日本語初級修了程度の日本語力を有する外国にルーツを持つ子どもと若者 使い方：日本語教育指導者の支援の下、数名のグループで学習する
発表者から一言	【成果】外国にルーツを持つ生活者としての若者たちへ日本語教育機会を提供し、「生計のために必要な日本語」にとどまらず、友人関係構築に役立つ「SNS」でコミュニケーションをはかるための若者言葉、はやり言葉について教材を作成した。養成講座では、外国にルーツを持つ若者という存在を伝え、継続的な支援が必要であることを伝えることができた。 【課題】特に、養成講座参加者が少なく、最後まで修了できた者も少なかったことが課題として残り、平成29年度には『外国にルーツを持つ中高生支援のためのキャリア形成を見据えた日本語教育担当者養成』へと内容を刷新することで、現在すでに発生している支援者側のニーズに対応しつつ、その枠組みを拡大することを目指す。 当日は外国にルーツを持つ若者を対象とした日本語教育の実践についてお伝えします。